

文献情報							
表題・資料名 懸濁物質の流出・流下と水環境への影響							
部会	G3	文献ID	R1011	観測ID	S001	公表年	1993
著者名 橋治国							
収録雑誌名 水環境学会誌							
巻号	16	ページ	450-456				

地点情報と流域情報					
都道府県	北海道・豊平川・小川				
経度		緯度		標高(m)	~ 1461
流域名	薄別側流域				
流域面積(ha)	1100	平均勾配		流路延長(km)	7
主要樹種	エゾマツ・シラカンバ・ハンノキ		林相コメント	営林署による生産・造林事業あり。また、林道あり	
地質情報	新第三紀火山岩・堆積岩に新第四紀安山岩...		地質コメント	脆弱で崩壊しやすい	
年平均気温()		年平均雨量(mm/y)	1223		

時期と調査方法					
観測開始	1987/9/1	観測終了	1989/8/31	観測期間	2年
採水頻度	週1回の定期採水				
採水方法	マニュアル				
流量観測頻度					
流量観測方法	実測値(本論文には量水観測実施についての記載はないが、流況によって季節を区分していることからおそらく水位観測は実施している。)				
気象観測方法					
気象観測コメント					

降雨時調査					
調査の実施	x	採水方法			
降雨時調査回数					
降雨時調査の内容					

対象項目					
N		P		有機物	その他
全窒素 TN		全リン TP		T-COD(Mn)	SS
溶存態窒素 DN		溶存態リン DP		D-COD(Mn)	
無機態窒素 DIN		PO4-P		TOC	
硝酸性窒素				DOC	
硝酸性・亜硝酸性窒素					
アンモニウム性窒素					
その他		その他		その他	その他

流域へのインプット量(降雨等)					
窒素					
全窒素 TN		単位		コメント	
溶存態窒素 DN		単位		コメント	
無機態窒素 DIN		単位		コメント	
硝酸性窒素		単位		コメント	
硝酸性・亜硝酸性窒素		単位		コメント	
アンモニウム性窒素		単位		コメント	
その他		単位		コメント	
リン					
全リン TP		単位		コメント	
溶存態リン DP		単位		コメント	
リン酸態リン PO4-P		単位		コメント	
その他		単位		コメント	
有機物					
T-COD(Mn)		単位		コメント	
D-COD(Mn)		単位		コメント	
TOC		単位		コメント	
DOC		単位		コメント	
その他		単位		コメント	
その他					
ss		単位		コメント	
その他		単位		コメント	

原単位（年流出負荷量）

窒素					
全窒素 TN	3.9	単位	kg/ha/yr	コメント	
溶存態窒素 DN	3.01	単位	kg/ha/yr	コメント	
無機態窒素 DIN		単位		コメント	
硝酸性窒素	2.41	単位	kg/ha/yr	コメント	
硝酸性・亜硝酸性窒素		単位		コメント	
アンモニア性窒素	0.24	単位	kg/ha/yr	コメント	
その他	0.89	単位	kg/ha/yr	コメント	PON
リン					
全リン TP	0.32	単位	kg/ha/yr	コメント	
溶存態リン DP	0.11	単位	kg/ha/yr	コメント	
リン酸態リン PO4-P	0.08	単位	kg/ha/yr	コメント	DRP
その他	0.21	単位	kg/ha/yr	コメント	PP
有機物					
T-COD (Mn)		単位		コメント	
D-COD (Mn)		単位		コメント	
TOC	32.7	単位	kg/ha/yr	コメント	
DOC	17.1	単位	kg/ha/yr	コメント	
その他	15.6	単位	kg/ha/yr	コメント	POC
その他					
ss	80.67	単位	kg/ha/yr	コメント	
その他		単位		コメント	

負荷算出方法等

負荷算出方法

本論文には方法が掲載されていない

コメント

論文では荒廃河川という位置づけ（土砂が流出しやすい）。砂防ダム8箇所あり。森林の管理や保全状態が河川水質や栄養塩流出負荷量に及ぼす影響を検討したその他項目：懸濁有機態窒素（PON）、懸濁態リン（PP）、溶存有機態炭素（DOC）年間流量は1740mm

日本水環境学会（2013）非特定汚染源からの流出負荷量の推計手法に関する研究

注：データを引用する際には必ず元文献をご確認ください。